

町田校長先生のおすすめ本

タイトル 「十二人の手紙」

作者名 井上ひさし

出版社 中公文庫

おすすめポイント

作家・井上ひさしの小説にハズレはないけれど、中でも一つだけとなったらこれ。手紙形式の小説は数々あるけれど(例:宮本輝著「錦繡(きんしゅう)」など)短編小説形式がホントにうまく生かされている。エピローグでは思わず「うまいなあ」と感嘆。これこそ小説のおもしろさ。

谷教頭先生のおすすめ本

タイトル 「名人伝(「李陵・山月記」内収録)」

作者名 中島敦

出版社 角川文庫

おすすめポイント

授業でも取り上げられている「山月記」(中島敦書)と一緒に収録されている短編もの。ちょっと難しい文書だが、たった9ページ程の文章に武芸達人の在り様、極意がしたためられている。我未不達！

佐藤事務長先生のおすすめ本

タイトル 「神様の御用人」

作者名 浅葉なつ

出版社 KADOKAWA/メディアワークス文庫

おすすめポイント

ある時、主人公が神様と話が出来るようになる。そして、神様からお願いをされる。特殊能力も無い、ごく普通の主人公が、神様のお願いを叶えられるのか?? 読書が苦手な人も、のんびり楽しく読める本です。

黛先生のおすすめ本

タイトル 「どكتورマンボウ青春記」

作者名 北杜夫

出版社 新潮社

おすすめポイント

著者の北杜夫氏は、歌人、斎藤茂吉の次男で、精神科医の資格を持つ小説家である。この本は氏が戦中、戦後を過ごした旧制松本高校(現在の信州大学)での常軌を逸した仲間たちとの寮生活を愛情豊かに記したひたむきな青春の記録である。当時の高校生といえば、エリート中のエリートで、浮世離れた一種独特な世界を形成していた。私はその未知の世界に圧倒され、また大いに触発されて、自分の憧れの大学生活を夢想したものである。大学一年の夏には寝袋を片手に松本駅に降り立ち、大切に保存された旧制松本高校の校舎を前に感激したのも懐かしい思い出である。腹をかかえて笑えると同時に、「今、全力で何かをしなければ」と真剣に考えさせてくれる本である。

高木宣広先生のおすすめ本

タイトル 「片眼の猿」

作者名 道尾秀介

出版社 新潮社

おすすめポイント

私が大学生のときに「小説っておもしろい」と初めて感じた一冊です。本なんて大嫌いだった私が本を読んでみようと思えました。本嫌いなひと、ぜひ！

津金先生のおすすめ本

タイトル 「せきれい荘のタマル」

作者名 越谷オサム

出版社 小学館

おすすめポイント

娘が買って来て、家に転がってたので読んでみたらおもしろかった。高校卒業後1・2年くらいのうちにいかにもありそうな内容です。

羽鳥先生のおすすめ本

タイトル「食品の裏側」

作者名 安部司

出版社 東洋経済新聞社

おすすめポイント

激安弁当には食品添加物が大量に使われている。普段何げなく食べている食品の裏側を読んでみよう。

岡田先生のおすすめ本

タイトル 「シンプルプレゼン」

作者名 ガー・レイノルズ

出版社 日経BP社

おすすめポイント

箇条書きを多用した複雑なスライドを用いたプレゼンのことを「パワーポイントの多用による死」という。世界最新のプレゼン方法を習得し、「パワーポイントによる死」から脱却しよう。あなたも素晴らしいプレゼンターになれる！プレゼンの講義を収録した80分のDVD付き。

善養寺先生のおすすめ本

タイトル 「ニュースの読み方使い方」

作者名 池上彰

出版社 新潮文庫

おすすめポイント

難しいニュースもわかりやすく解説してくれる池上氏の本です。「私の情報収集術」「私の読書術」は参考になります。他の出版社でも池上氏のシリーズはたくさんありますので是非読んでみてください。

萩原先生のおすすめ本

タイトル 「影武者徳川家康」

作者名 隆慶一郎

出版社 新潮文庫

おすすめポイント

徳川家康が実は関ヶ原の戦いで西軍により暗殺され影武者と入れ替わっていたという内容。歴史好きには是非すすめたい一冊。

井上先生のおすすめ本

タイトル 「神様のカルテ0」

作者名 夏川草介

出版社 小学館

おすすめポイント

24時間365日対応の本庄病院を舞台に、主人公一止が医者として人として貫く姿と、医療現場とのハザマで翻弄する姿です。すでに1～3まで書き下ろされていて、桜井翔が一止役で映画化されています。今回は0ということで、一止の医大生時代の話と、一止の妻ハルの過去を知ることができます。自分を貫く強さと本当の優しさを考えさせられる心温まる一冊です。

小林育美先生のおすすめ本

タイトル 「Jane Eyre 「ジェイン・エア」」

作者名 Charlotte Bronte シャーロット・ブロンテ

出版社 ※各社から翻訳がでています。

おすすめポイント

この本は、私に英文学を志すきっかけを与えてくれた本の一つです。学生時代にはブロンテ姉妹の故郷ハワースも訪れました。純粹でたくましい女性像、社会通念を超越したロマンスに心を打たれることでしょう。

石原先生のおすすめ本

タイトル 「隠された十字架——法隆寺論」

作者名 梅原猛

出版社 新潮文庫

おすすめポイント

法隆寺は怨霊鎮魂の寺！大胆な仮説で学会の通説に挑戦し、法隆寺に秘められた謎を追い古代国家の隠された真実に迫る。

野村絵里先生のおすすめ本

タイトル 「フライ、ダティ、フライ」

作者名 金城一紀

出版社 角川書店、講談社

おすすめポイント

私が高校生の時に好きになった本です。作者はSPの脚本も手がけた金城一紀です。気軽に読めるので、普段あまり本を読まない人にもオススメです。

山田先生のおすすめ本

タイトル 「日本は世界 4 位の海洋大国」

作者名 山田吉彦

出版社 講談社プラスアルファ新書

おすすめポイント

四方を海で囲まれた日本、日本の持つ海水の体積は世界で第 4 位。この海水の中に、ウランやレアメタルが含まれ、海面下には 100 年使えるメタンハイドレイドがある…。(興味深い話がたくさんかいてあります。)

岐山 先生のおすすめ本

タイトル 「面白くて眠れなくなる化学」

作者名 左巻健男

出版社 PHP

おすすめポイント

「コーラを飲むと歯や骨が溶ける?」「火事になったらダイヤモンド(炭素でできている)は燃えてしまう?」日常生活に直接かかわる「化学」が楽しめます。

古平先生のおすすめ本

タイトル 「スラムダンク」

作者名 井上雄彦

出版社 集英社

おすすめポイント

人生の教本。熱く生きたい。そんな時にオススメ。図書館にもあるよ！

矢島先生のおすすめ本

タイトル 「つくもがみ貸します」

作者名 島中恵

出版社 角川書店

おすすめポイント

お江戸の片隅で、姉妹が営む、鍋、釜、布団となんでも貸し出す小さなお店「出雲屋」。その中には、奇妙な品も混じっているようで…。それらは、生まれて百年を経てつくもがみという妖怪に化けた古道具たち。気位高くいたずら好きでお節介。退屈をもてあました噂超大好きの妖怪たちが貸し出された先で拾ってきた騒動ときたら…。そんな不思議な世界を楽しんでみてはいかがでしょうか。

桜井先生のおすすめ本

タイトル 「だからおまえは落ちるんだ、やれ！」

作者名 吉野敬介

出版社 KKロングセラーズ

おすすめポイント

「いつやるの？今でしょ！」の林先生と肩を並べ、東進ハイスクールで受験生から熱狂的な支持を受けている吉野先生。元暴走族で偏差値20からの挫折や苦悩、そして成功への道のりはよむべし！！

小林めぐみ先生のおすすめ本

タイトル 「母性」

作者名 湊かなえ

出版社 新潮社

おすすめポイント

「これを書けたら作家をやめてもいい」と思うほど作者が「覚悟」を持って書いた作品です。私は愛能う限り、娘を大切に育ててきました——。二種類の女性、母と娘。それをめぐる記録と記憶、そして探索の物語。

田村先生のおすすめ本

タイトル 「スキップ」

作者名 北村薫

出版社 新潮文庫

おすすめポイント

17歳、高2の少女が25年後の自分の身体に意識が飛んだ。なんと娘と夫がいた。彼女の聡明さ、国語とくに古典のすばらしさ、高校の先生・生徒らの学校社会が詳しくのべられている。自分も同じ状況でできるかを考えた。

片野先生のおすすめ本

タイトル 「鈴木さんにも分かるネットの未来」

作者名 川上量生

出版社 岩波新書

おすすめポイント

ネットを使っている人、ネットに住んでいる人の違いの説明から、ネット上の様々なコンテンツの説明と今後の予想が書かれている。全てに興味がなくとも、誰だって、一つや二つは興味のあるコンテンツに引っかかるはず。

前原和紀先生のおすすめ本

タイトル 「アルジャーノンに花束を」

作者名 ダニエル・キイス

出版社 早川書房

おすすめポイント

以前もこの本を紹介させていただきましたが、ドラマ化も決定し、まだ見たことのない人は是非手にとってみて下さい。一度は読んでおきたい名作です。

斎藤先生のおすすめ本

タイトル 「ビリギャル」

作者名 坪田信貴

出版社 KADOKAWA/アスキー・メディアワークス

おすすめポイント

リアルな受験までの心理状態や環境が書かれていて引き込まれる。映画もおすすめです。

下風先生のおすすめ本

タイトル 「海辺のカフカ」

作者名 村上春樹

出版社 新潮文庫

おすすめポイント

村上春樹の作品はずいぶん前に「ノルウェイの森」、昨年の修学旅行前後に「IQ84」とその後の「海辺のカフカ」を読みました。人間の価値観は多様ですが本質的な善悪の判断などは共通しているな、と思いました。

飯野先生のおすすめ本

タイトル 「誰も書かなかった清少納言と平安貴族の謎」

作者名 川村裕子

出版社 株式会社KADOKAWA

おすすめポイント

最初に書いておきますが、徒然草の作者は枕草子ではありません。テストで間違えていた人がいたので注意。さて、本書は、清少納言や平安時代の様子をあまり堅固しくなく紹介した本です。気軽に読んでみて下さい。

三浦先生のおすすめ本

タイトル 「月とロペンヌ」

作者名 サマセット・モーム

出版社 角川文庫

おすすめポイント

大昔に読んだ本で、中身は忘れました。でも、その頃たくさん読んでいた本の中で最も強烈に引き込まれ、一気に読み切ってしまった覚えがあります。

町田先生のおすすめ本

タイトル 「強い体をつくる部活ごはん」

作者名 明治スポーツ栄養マーケティング部

出版社 文化出版局

おすすめポイント

競技ごとや試合で力を発揮するための食生活のポイントを分かりやすく説明しています。例えば、おにぎりにチーズとじゃこ(小魚)を入れるだけでも栄養バランスはよくなります。運動部のみなさん！食生活は大事ですよ。

渋谷先生のおすすめ本

タイトル 「鹿男あをによし」

作者名 万城目学

出版社 幻冬舎文庫

おすすめポイント

奈良の女子高を舞台に、鹿からある救国指令を言い渡される先生。数年前テレビでもドラマ化されたので知っている人もいるのでは。とにかくおもしろいです。

角田先生のおすすめ本

タイトル 「紙をつなげ！彼らが本の紙を造っている」

作者名 佐々涼子

出版社 早川書房

おすすめポイント

この本は「キノバス！2015」の第一位に輝いた作品でもある。大震災が起こった約二ヵ月後、私は無事出産した我が子に命の尊さを教わった。“生きる”誰かのために働く姿に感動する実話。ニュースにならない「復興」の姿が描き出されている。

今井先生のおすすめ本

タイトル 「おこだでませんように」

作者名 くすのきしげのり

出版社 小学館

おすすめポイント

“ほく”の気持ち、“先生”の気持ち、“おかあちゃん”の気持ち。それぞれの気持ちをおもうと、心がジーンとなります。みんなそれぞれが頑張っているのに、相手を追い詰めてしまう事もある。時には力を抜いて、相手の気持ちに寄り添ってみると、自分も元気がもらえるんだな！って思える絵本です。

吉田先生のおすすめ本

タイトル 「学生時代にやらなくてもいい20のこと」

作者名 朝井リョウ

出版社 文芸春秋

おすすめポイント

「20代に必ずやっておきたい」「30代にやるべき」「40代を後悔しない」etc、その手のタイトルの本はうんざりするほどあるが、こういうなめたタイトルの本はあまりない。だからおそろく、読んでも何の役にも立たないと思うが、とにかく面白い。吹き出してしまう。「私はお腹が弱い」とかも最高。

篠原先生のおすすめ本

タイトル 「楊貴妃伝」

作者名 井上靖

出版社 講談社文庫

おすすめポイント

中国・唐の時代、玄宗皇帝に愛された楊貴妃の波乱に富んだ人生を忠実に基いて描いた作品です。「傾国の美女」とも呼ばれ、政治に翻弄された一生に触れてください。

増田先生のおすすめ本

タイトル 「ソロモンの指輪」

作者名 コンラート・ローレンツ

出版社 ハヤカワ書房

おすすめポイント

ドリトル先生のように動物と話せるかな？ この本は日本人には納得しやすい動物のお話が沢山。そしてそれらを考えてみると人間の生活もみえてきます。

前田先生のおすすめ本

タイトル 「指揮者のひとりごと」

作者名 小林 研一郎

出版社 騎虎書房

おすすめポイント

指揮者の小林研一郎さんが指揮者になるまでのストーリーです。音楽学校に行くとは決めるまでは、ピアノも習っていなかったそうで、やると決めたことを達成するには、強い意志が大切であることを教えてください。

前原 玄先生のおすすめ本

タイトル 「心を整える」

作者名 長谷部 誠

出版社 幻冬舎

おすすめポイント

スポーツ全般で参考になる本。メンタルコントロール術が色々あって勉強になると思います。

高瀬先生のおすすめ本

タイトル 「最後の晚餐」

作者名 開高 健

出版社 光文社

おすすめポイント

開高 健の文体が好きで、前回は「釣り」の「オーバー」を薦めましたが、今回は「食」に関する本です。「食」の愉悦、深淵の深さが軽妙な語り口で書かれています。

春山先生のおすすめ本

タイトル 「民王」

作者名 池井戸 潤

出版社 ポプラ社

おすすめポイント

「半沢直樹」「花咲舞が黙ってない」とテレビ化された話題になった作品の多い池井戸潤。ドラマ最新作「民王」の原作がこの本だ。総理大臣の人格が息子と入れ替わる。漢字も満足に読めない総理の出現に政界は大混乱。利権を巡る陰謀の追求する中、父子の心に変化が…。読後感がスカッとする。

野村千絵先生のおすすめ本

タイトル 「星の王さま」

作者名 サン＝テグジュペリ

出版社 岩波書店

おすすめポイント

「心で見ないと物事はよく見えない。肝心なことは目に見えない。」というきつねのセリフに深く考えさせられました。絵本なので、挿絵も楽しみつつ、自分なりの解釈をしてみてください。

阿久沢先生のおすすめ本

タイトル 「英単語1400」

作者名 宮川幸久

出版社 旺文社

おすすめポイント

- 1、効率的な一語一義主義
- 2、見出し語1400語＋派生語1152語＝2552語を収録
- 3、重要表現を“ターゲットフレーズ”でチェック
- 4、センター試験に必要な単語を完全網羅

太田先生のおすすめ本

タイトル 「自由と規律」

作者名 池田潔

出版社 岩波書店

おすすめポイント

紳士の国イギリス、大学に入る前に通うパブリックスクールの本だ。規律がしっかり守られ、秩序が保たれているから安心して、生徒も臆することなく意見を言うことができ、周囲もそれを受け入れる。その学校で学ぶことは、正邪の観念を明らかにし、正を正とし、邪を邪としてはばかりめ勇気を養い、それぞれが勇気をもつことで初めて真の自由をたもつことができるというもの。この本を読んで、真のレディー&ジェントルマンになろう。

太田先生のおすすめ本

タイトル 「自殺ウサギの本」

作者名 アンティニー・ライリー

出版社 青山出版

おすすめポイント

可愛いうさぎたちがさまざまな方法を駆使して、エネルギーに自殺していきまんがです。蜂の巣をつつく。スペースシャトルの噴出口の下に座る。皆既日食の暗闇の中でナイフでジャグリングをする二匹のウサギ。バンジージャンプの順番待ちの行列に大きなはさみを抱えてならぶうさぎ。電車から放尿をして感電するうさぎ。ナイフ専門店と電磁石ショールームの間に座り開店を待つうさぎ。断層が動くのを利用をする気の長いうさぎ、などなど。見ていると、おかしくて元気が出てくる本です。自殺願望の方にはおすすめしません。

